

個人 3

受	3年	6月	1日
付	午前・午後	9時	00分

一般質問 (代表・個人) 通告書

令和 3年 6月 1日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 谷口武司

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により 6 月
定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問項目の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 2 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問項目 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



<p>質問事項</p> <p>No. 1</p>	<p>2050年カーボンニュートラルの実現に向けて市としての取組について</p>
<p>要旨</p>	<p>2021年4月、菅総理大臣から「2030年度に向け2013年度比の温室効果ガスを46%削減する。」という目標が発表されました。この発言の基には昨年10月の第203回臨時国会の総理大臣所信表明演説において「2050年までに、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」とするという宣言があります。本市を含めこれまでの目標値は国の方針に合わせた26%の削減です。20%もの削減量の積み増しを受け身でとらえることなく、好機ととらえこの化石燃料大量消費時代のパラダイムを転換し、持続可能な社会を行政並びに市民が実現していくための施策を打ち出さねばなりません。</p> <p>森市長の令和3年度施政方針、主要施策概要の中に「環境負荷の少ない資源循環型社会や脱炭素社会は、地球規模の問題です。市民、事業者、行政がともに取り組み、環境と共生した持続可能なまちづくりを進めます。」と記されております。</p> <p>この機をみて、小さい事からでも良いので、市民、事業者、行政がともに取り組む具体例を検討し積極的にゼロカーボンシティを目指すべきだと考えます。</p> <p>また、その動機付けとなるゼロカーボンシティ宣言に向けた取組等について質問させていただきます。</p> <p>(1) 2050年カーボンニュートラルに向けて本市に必要な計画について</p> <p>(2) LAPSSの導入について</p> <p>(3) 先駆的な取組について</p> <p>ア BDF精製装置について</p> <p>イ 木質バイオマス発電燃料製造装置について</p> <p>ウ 農産物の地産地消によるカーボンニュートラルについて</p> <p>エ 水素ステーション誘致について</p>

※申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 2	2050年カーボンニュートラルに向けて市民と行政が共に取り組む 持続可能な社会について
要旨	<p>2005年日本国際博覧会「愛・地球博」尾張旭市民の多くが会場に行かれたり、携わられたりしたと思います。あれから16年が経ちました。「自然の叡智」を縦糸に、地球大交流を横糸として幅広い参加と交流を目指した博覧会は、人類共通の課題の解決策を提示した最初の理念提唱型万博といわれています。開催にあたり主催者のメッセージの中には「自然の叡智」を考えたとき、更にたどり着くテーマは「持続可能な開発」であることが明示されています。17の目標達成を目指すSDGsへの取組は、当時から綿々とながっているのだと思います。</p> <p>あの博覧会に携わった尾張旭市と多くの尾張旭市民こそは今一度「人と自然がいかに関係していきのか」を常に心にとどめ、持続可能な社会の実現に向け率先して行動していくべきだと私は思います。</p> <p>また、市民と行政がカーボンニュートラルへの取組を共に進め、本市の魅力創造につなげていく必要があると考えます。</p> <p>(1) 「家庭版環境ISO」の推進について</p> <p>ア 「家庭版環境ISO」への本市の取組について</p> <p>イ CO₂・CO₂ダイエットプラン事業と取組世帯数について</p> <p>ウ CO₂・CO₂ダイエットプラン項目の増設について</p> <p>(2) リサイクル率向上への取組について</p> <p>ア 本市のリサイクル率について</p> <p>イ 本市の資源ごみ回収量の推移について</p> <p>ウ 廃食用油の収集について</p> <p>(3) 焼却処分されるごみの減容化について</p> <p>ア 晴丘センター焼却ごみの計量単位について</p> <p>イ 生ごみ処理機の購入助成金等について</p> <p>ウ 廃プラスチックの再資源化への課題について</p> <p>(4) EV・燃料電池車の普及促進について</p> <p>(5) ZEH住宅の普及促進について</p>

※申し合わせ事項に留意する。